

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和4年度 第16号 R4.12.23(金)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「たくさんの Good Job!」

急に寒さが厳しくなりましたが、何とか長い2学期も終わろうとしています。今年は1学期に修学旅行を終えていたので2学期は体育大会に向けてスタートダッシュが出来たように思います。特に最終種目3年生全員リレーの感動が今もよみがえってきます。他にも1年生は古墳巡りで地域のことを、2年生は新聞社見学やハローワークの方による「働くこと」についての講演、藤井寺市社会福祉協議会の方による「認知症サポーター養成講座」などを通して将来のことを学習しました。また、文化週間、部活動での活躍、数々の表彰など生徒たちの頑張りが見えた充実の2学期でした。

2学期から始まった「Good Job カード」の取り組みは、教員から生徒だけでなく、生徒同士、教員同士でも盛んに行われています。SNS における「いいね!」と同じようなことで、これが増えると頑張るエネルギーがわいてくるのです。子どもも大人も「褒められたら嬉しい」ということは同じです。家族や親戚と過ごす時間が一番長い年末年始、お家でも「褒め褒めシャワー」を浴びせあって、みんなでいい気分になりましょう。皆さま どうぞ良いお年をお迎えください。

「第68回青少年読書感想文」

「全国コンクール大阪府入選」

夏休みの読書感想文自由読書の部で、「聖女の救済」東野圭吾著について書いた3年生の感想文が大阪府で入選しました。東野圭吾は中学生に大人気の作家です。ドラマ化や映画化されている作品も多いですが、本で読むとじっくり自分で場面をイメージするのがいいですね。

「綺麗ですね」

本校は古い校舎ですが、お客様に綺麗だと言われることが多いです。先日は「廊下が特に綺麗ですね。掃除は誰がしているのですか。」と聞かれました。「この廊下は3年生が担当です。毎日熱心に掃除してくれています。」と答えました。その他玄関ホールやスロープ、正門前の道路も褒めていただくことが多いです。落ち葉の時期や、雨上がりの放課後は土が上がり、とても汚れやすいところです。ここは2年生や3年生の通常の掃除だけでなく、美化委員会や校務員さん、施錠員さんが追加で丁寧に掃いてくれていて、美しさを保っています。こういう毎日の積み重ねが過ごしやすい学校環境を作っているのだと思います。

ここであらためて「綺麗ですね」という言葉の力を感じました。この言葉を言われて嫌な人はいないのではないのでしょうか。道を歩いていても、花の手入れをしている人に「いつも綺麗にしてはりますね」と声を掛けるだけで、言った方も言われた方も心地いいです。様々な場面で使えるお勧めの褒め言葉だと思います。

「またもや「ビブリオエッセー掲載」3名」

以前ご紹介した産経新聞夕刊の「ビブリオエッセー」のコーナーに、さらに本校の3年生が3人掲載されました。12月5日「この恋は世界で一番美しい雨」宇山佳佑著、12月12日「世界から猫が消えたなら」川村元気著、12月20日に「アルジャーノンに花束を」ダニエル・キイス著の紹介文です。

左記の読書感想文もですが、これらを読んでいつも感心させられるのは、本を読んで、自分の心がどんな風に揺さぶられたのかがちゃんと整理できているということです。読み込んでいるからこそ「こんな時に読みたい」、「こんな人に勧めたい」という感情がわいてくるのだと思います。実際に私も読んでみたいと思いました。本が人を繋いでいくってとても素敵なことですね。